

「はまかせ」(金沢版)

平成 29 年 11 月 10 日号

連載 第95回

横浜市議員 おばた正雄氏 横浜を語る



感謝の心で金沢づくり
横浜から日本を創る!
市会議員
おばた正雄

〈プロフィール〉

昭和54年より横浜市議員。10期。

〈ご相談・ご連絡先〉

事務所:金沢区谷津町332

TEL: 045-783-7869

FAX: 045-786-5315

obatamasao17@gmail.com

おばた正雄HP

『広報よこはま』の活用などで徹底を 北朝鮮の弾道ミサイルに対する危機管理について

10月3日の
決算特別委員
会の総合審査
で、本市の危
機管理対策を
十分に行うよ
う、林市長、
渡辺副市長、
危機管理監に
要請。市長は
「ご指摘はも
つとも、しつ
かり対応す
る」と答弁。

北朝鮮のミサイルに 危機管理の確保を!

先日行われた衆議院選挙では北朝鮮危機と少子高齢化という、日本に差し迫った国難を乗り越える安倍首相の呼びかけ等に国民が支持をしたのだと考えます。同時に、北朝鮮の最近の動向は日

がありませぬ。9月3日には6回目の核実験を実施し、9月15日には中距離弾道ミサイルを9発射して北海道上空を通過し約3千7百キ^ロ飛ばし、米領グアムをいつでも攻撃できると示威しました。政府や自治体には朝鮮半島有事に備え、国民の生命財産を守る義務があります。しかし横浜市は緊急事態を受けて『広報よこはま』の6月号2面の下段のわずか8分の1(縦5^{センチ})のスペースに『弾道ミサイル落下時の行動に』ついて掲載してありますが、これでは気付かず、市民には緊急事態は伝わらないと考えます。緊急事態であると緊急事態であるという認識と、市民の安全に関することであるので再度『広報よこはま』の1面に掲載し、市民の注意喚起や啓発を行うべきではないのか。林市長…ご指摘ごもつとも感じております。担当と相談させていただきまして、PRの仕方を研究してまいります。おばた…市民の安全を確保するため消防局、消防団、警察などとの連携を行い、万全な準備と対応が必要であるが。渡辺副市長…万が一の際に、市民の皆様の命を守るということは行政の一番の責務です。危機管理室と区役所、消防、警察などが連携し、国民保護訓練や迅速な避難誘導や救護活動が行えるよう取り組み、効果的な体制を構築することが課題です。広報よこはまなどの周知方法については、状況に応じて検討します。おばた…迅速な対応が必要です。